

英語科編 22

第122号

平成22年3月12日

46 オーラル・アプローチ

和田 正吾 北海道出身 昭和23東京

文理科大学 在職33~45 都留文科教授

和田正吾が、附属中の教官になった昭和30年代は、新しい英語教授法として、フリーズらによる「オーラル・アプローチ」の教授法が喧伝され、附属中でも和田らにより、それが進められたようですが、詳細はよくわかりません。ただ、このころになると、一時期、附属小で行なわれていた小学校英語も下火となり、中学校からの英語教育をどのようにすべきか、いろいろな方法が模索された時期でもあったのではないかと思われます。

47 L1教室の建設

浅野 博 茨城県出身 昭和27東高師

卒 在職39~42 筑波大教授

英語教育にとって、L1教室とこの機械を用いての授業というものは戦後の英語教育を、現象的には一変させるものでした。そのL1教室が、昭和39年に附属中にもつくられることとなり、現在の育鳳館を二階建てにし、そこに機械の設置と教室が設けられました。このときに、東京学芸大学の附属高校から転勤してきたのが、浅野博です。

浅野は、このL1を利用した授業の研究をかなり積極的にすすめたらしく、『英語教育とL1』や『教育・英語・L1 考え方と実践』などの著書があります。ただ、浅野は、その研究の中で、L1の利用の問題も感じたらしく、その限界についても論じています。L1は、パソコンの普及などにより、すぐに使われなくなり、育鳳館にあった教室も、すぐに変更となり、現在の小講堂に戻りました。浅野博著『教育・英語・L1』リール出版1995



48 丁寧な英語教育

土屋 澄男 東京出身昭和30東京教育

大心理卒 在職41~45東京電大教授

英語の授業に関する著書はたくさん

出していますが、英語に関する内容だけを述べているものが多い中で、「授業の雰囲気づくり」や「机の並べ方の工夫」、「板書の仕方」等々、実際の授業に役立つ内容を記した著書を著しているのが、土屋澄男です。土屋が単なる英語教育の方法だけでなく、生徒の立場に立ちながら、生徒の心理まで踏み込んだ授業の内容までを記しているのは、彼が、東京高等師範では英語科を卒業し、その後、東京教育大学に入学して、心理学科を卒業したことに関係あるようです。彼の『英語指導の基礎技術』は、英語教師を目指す新人に読んで欲しいだけでなく、あらゆる教科の先生に読んでもらいたい著です。土屋澄男著『英語指導の基礎技術』大修館1983

49 先輩教官として

広野 威志 千葉県出身 東京教育大英

文科卒 在職42~平5 文教大教授

広野威志は、筆者山口が附属中学でわずか2年間であるが、同僚として(もちろん、大先輩の先生であるが)過ごしたことがある教官です。広野の授業は非常に落ち着いた授業で、物静かであつたらしく、あるときに「山口君の授業は、声が大きくてうるさい」と、笑いながら注意されたことがあります。どうも話を聞くと、夏の暑い時期であつたらしく、廊下の扉が開けてあり、筆者山口が、大きな声を出しすぎて授業の説明をしているものを、一つあけた隣の広野の授業を受けている生徒が、笑って聞いていたため、授業にならなかつたので、そのような苦情?になつたようです。ただ、やさしい先生でもあつたので、山口の声の大きさをとくに咎めるようではありませんでした。残念なことに、昨年(2009年)70歳で亡くなりました。

50 英語教育史の確立

伊村 元道 静岡県出身 東京教育大卒

在職45~50 玉川大教授

今回の英語科教官列伝を記すに当たって、一番参考にさせていただいたのは、伊村元道のさまざま研究

です。

彼は、東京教育大を卒業するとすぐに附属中の教官になります。教官在職中から、附属中学の英語の歴史研究をはじめました。そして、附属中の研究紀要に、明治時代から大正時代にかけての英語科の研究を発表するとともに、さらに、パーマーの研究と、確実に「英語科歴史」の研究を深めました。さらに、東京教育大学廃学に伴い計画された『ある英文教室の100年』の編集・執筆にかかり、日本の英語教育の歴史全体にも研究をすすめていきました。そして、玉川大学に転勤するとともに、「日本英語教育史学会」を設立し、日本の英語教育史に関する第一人者となりました。彼の仕事は、単なる英語教育研究史だけでなく、すばらしい人物伝にもなっており、今回の筆者山口の列伝は、この伊村の仕事なくしては記すことのできなかつたものでも、大切に受け継ぎたい内容でもあります。

伊村元道共著『ある英文教室の100年』大修館 1978 同共著『英語教育の歩み』中教出版 1980 伊村元道著『パーマーと日本の英語教育』大修館 1997 同著『日本の英語教育200年』大修館 2003



51	石井光太郎	45~平17
52	佐藤 敏子	47~平4
53	堤 昌正	50~平3
54	久保野りえ	平3~29
55	青木 和子	4~5
56	蒔田 守	6~28
57	上沼美田紀	6~7
58	肥沼 則明	7
59	平原 麻子	7~8
60	矢野 美子	8~9
61	佐野 尚子	16~17
62	植野 伸子	17
63	籠島 聡子	18~20
64	栖原 昂	28
65	中島真紀子	29